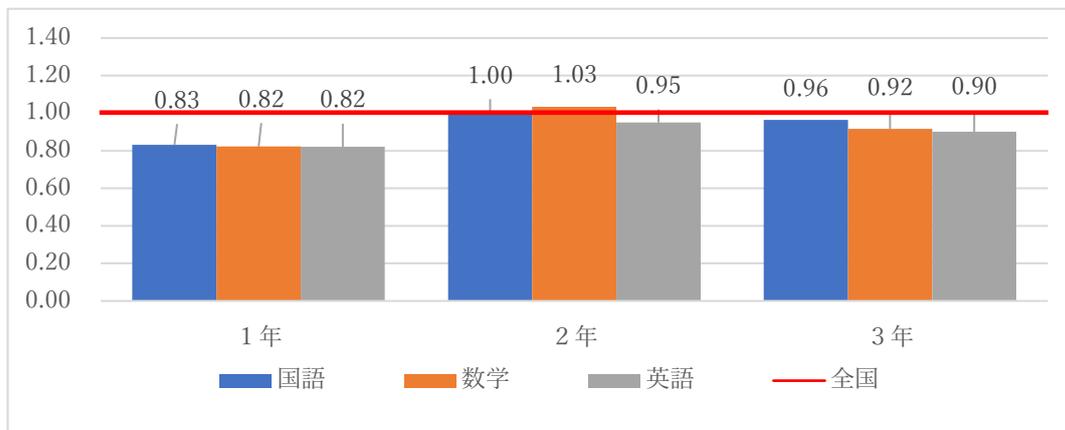


令和5年度 全国学力・学習状況調査及び学習到達度調査について

第八中学校区 第八中学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※中学1・2年生は学習到達度調査、中学3年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

学習到達度調査	国語	領域「我が国の言語文化に関する事項」、「書くこと」、「情報の扱い方に関する事項」については、全国平均を上回る結果であった。引き続き、自分の意見や考えを、根拠を基に書く指導を教科横断的に取り組んでいく。
	数学	領域「数と式」、「データの活用」については、全国平均を上回る結果であった。引き続き、少人数授業を展開し、基礎学力の定着とともに、他教科や日常生活と関連した課題設定を行っていく。
	英語	領域「リスニング（さまざまな英文の聞き取り）」については、全国平均を上回る結果であった。引き続き、「目的・場面・状況」を確認し、キーワードを予め想定しながら聞く習慣を身につけさせていく。
全国学力・学習状況調査	国語	「読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整える」設問において、全国平均を上回る結果であった。引き続き、読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるよう指導を行っていく。
	数学	「ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明する」設問については、全国平均を上回る結果であった。引き続き、「図形」に係る知識及び技能を活用しながら思考力・判断力・表現力を育む指導を行っていく。
	英語	「日常的话题について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取る」、「社会的な話題について、短い説明の要点を捉える」設問において、全国平均を上回る結果であった。引き続き、「目的・場面・状況」を確認し、キーワードを予め想定しながら聞く習慣を身につけさせていく。
	質問紙	「自分には、よいところがありますか」の質問に、「当てはまる」と回答した生徒の割合は、全国平均を上回る結果であった。年々増加傾向で、引き続きPBISの取組を進めていく。

○学力向上の取組

【中学校区】

家庭学習の定着化を図るため、自主学習ノートおよび宿題プリントの共有を行う。個別最適な学びを推進するために、特に算数・数学において個々の習熟度に合わせた教材の提供を行い、自らの課題に応じて主体的に学ぶ力の育成を図る。

【学校】

基礎・基本の定着のために効果的な家庭学習や放課後学習を実施する。また、ディベートの取組により「考える力」を定着させ、文章問題にも粘り強く取り組ませる。